

2024年3月28日

SAAJ NEWS RELEASE

公開草案「資本の特徴を有する金融商品」について 意見書を提出

公益社団法人 日本証券アナリスト協会（会長：小池 広靖 野村アセットマネジメント CEO 兼代表取締役社長）は、国際会計基準審議会（IASB）が2023年11月29日に公表した公開草案「資本の特徴を有する金融商品」（以下、本公開草案）について、2024年3月28日に意見書を提出しました。

【意見書のポイント】

- 我々は、IASBが2018年6月18日に公表したディスカッション・ペーパー「資本の特徴を有する金融商品」（以下、DP）に対して、2019年1月7日に意見書を提出した。その意見書で我々は、(1)DPで示された4枠のマトリックスによる分類アプローチが財務諸表利用者に提供される有用な情報の増加にどれだけ寄与するのか自信を持って判断できない、(2)表示及び開示の改善に基本的に同意する、と述べた。
- 本公開草案の提案では、(1)DPで示された分類アプローチではなく分類の要求事項の明確化に焦点を当てていること、(2)表示及び開示の改善を示していることから、我々は各提案について同意するとしているが、質問1（関連する法律又は規則の影響）、質問7（開示）及び質問8（普通株式に帰属する金額の表示）については、改善提案を示している。
- 特に質問8では、「親会社の普通株式に帰属する持分」と「親会社のその他の所有者に帰属する持分」の切り分ける方法について、企業の実務のばらつきを抑制し比較可能性を確保するため、前提条件及び計算方法に関するガイダンスを提示すること、それが難しい場合は、利用者の理解可能性のため、企業が用いた前提条件及び計算方法を開示要求事項とすることを提案している。

【添付資料1】 *Re: Exposure Draft “Financial Instruments with Characteristics of Equity”*

【添付資料2】 公開草案「資本の特徴を有する金融商品」について

本件に関するお問い合わせは下記まで

SAAJ 公益社団法人
日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1200

担当：企業会計第2部長 土谷 敬